



市内事業者の商品をPR販売

やぎした てんゆう
柳下 天祐 さん (27)

[南さつま市観光協会]

南さつま **縁人** VOL.54
MINAMISATSUMA ENGINE

学校法人玉川学園（東京都町田市）と本市との交流が縁で、同大学卒業後に鹿児島へ移住、現在は南さつま市観光協会で働く柳下さんは、「南さつま市はとにかく楽しい人が多い。ファンを増やして人が集まる状況を作れたらおもしろい」と話します。

本市と玉川学園は、玉川学園の創始者である小原罔芳氏が坊津町久志出身であること、農学部の農場を久志に開設していることなどから関係が深く、平成

24年6月に、講師派遣や合宿受け入れ、物産販売など幅広く協力する目的で「教育・文化・産業振興等に関する包括連携協定」を締結し、交流を続けているところでは、

柳下さんが大学3年の2月に同交流事業で初めて本市を訪れた際、本当の家族のように接してくれる地域住民の優しさに触

れたといえます。その後、大学4年の1年間は、大学に通いながら月1回程度本市との往來を続け、観光学部観光学科で学んだ知識を活かして、吹上浜砂の祭典や坊津の道歩きの運営のほか、モニターツアーの企画などにも携わりました。

現在は、観光客誘致や会員の物産販売・物流の構築などに取り組みながら、地域住民との対話を大切にしたいと、時間を見つけては地域内を走り回っているそうです。

将来はDMO（観光地域づくり法人）の設立を視野に入れていくという柳下さんは、「移住・定住に直接結びつけることは難しいが、地域の『人』を鍵として関係・交流人口を増やしたい。また事業者と働き手を繋げる仕組みも構築していきたい」と、意欲を見せていました。

南さつま市に住む、働く、生き生きと活動している人を、南さつま市の輝く原動力（エンジン）としてご紹介します。